



校長室だより No. 8
(平成 28 年 8 月 29 日)



泉大津市立上条小学校
校長 松田 義広

<http://izumiotsu-ed.jp/e-kamiyo/hp/>

ホームページでは、運動会の練習の様子もお伝えしていきます。

始業式でリオデジャネイロでのオリンピックのことを話題にしました。体操・卓球・柔道・バドミントン・競泳・シンクロ・テニス・陸上・カヌー・ラグビーなどなどエピソードに事欠かない大会で、東京大会への夢は広がるばかりでした。続いてパラリンピックが開催されますが、同様に期待を膨らませてくれると確信します。今回は、特に男子 400Mリレーを取り上げて次のような話をしました。「100mの個人では、決勝に進めた選手はいないし、9秒台の選手もないにもかかわらず、芸術的なバトンパスで、あのスパースターのボルト選手の隣を走っての銀メダル！素敵で格好良かったですね。2学期は、運動会・遠足・修学旅行・音楽会などの多くの行事がありますが、どれも独りではなく、みんなで取り組むことばかりです。まずは素直な気持ちで頑張ってみましょう。」



さて上条小学校の子ども達は、この2学期、一人ひとりのレベルを高めながら、どんなチームプレイ(学校力)を発揮してくれるのでしょうか。楽しみです。

さて、本日より運動会の練習が始まりましたが、近隣住民の皆様には、連日の練習における放送等でご迷惑をおかけいたします。地域の皆様の本校教育に対してのご理解、ご協力、ご厚意に深く感謝いたします。

さて、本日より運動会の練習が始まりましたが、近隣住民の皆様には、連日の練習における放送等でご迷惑をおかけいたします。地域の皆様の本校教育に対してのご理解、ご協力、ご厚意に深く感謝いたします。

運動会について [その2]

昨年度、組立体操の危険性について様々なところで議論が起きました。本校においても、改めて今年度の組立体操について、府教委・市教委の通知をはじめ、他校の様子など様々な角度から検討してまいり、以下の点を本校全教職員で確認いたしました。

今までも本校教員は、タワーやピラミッドの高さや技の難易度を安易に追及せず安全に指導できることを重きに置いて実施してきましたが、今年度はいっそう安全に配慮した組立体操といたします。その中で、演技構成を工夫することで、子ども達の達成感や保護者の皆様感動を与えられる組立体操をめざします。

- ・タワーの段数は3段まで、ピラミッドの段数は5段までとする。その他、子ども達にとって過度の負担のかかる技は行わない。
- ・すべての技に細心の注意を払い、補助できる体制を組む。
- ・指導者育成の「組立体操講習会」を校内体育部主催で行い、今年度の安全性を高めると共に今後の指導者育成にも努める。



秋の全国交通安全運動(9月21日～30日の10日間)

秋の交通安全運動が、「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本とし、『夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止』、『後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底』、『飲酒運転の根絶』を運動の重点として行われます。学校でも交通安全指導を行なっていますが、是非、登下校時の危険箇所や危険なこと、ご家庭での自転車の乗り方等を含めたお話をさせていただきますようお願いいたします。

なお、何かの事情で、お子様を自動車で送迎する場合もあるかと思えます。その際、学校近くでの自動車の駐車場所や乗降の安全にご配慮いただけますようお願いいたします。



どのような事故や事件であっても、心身が傷つくことを誰も望みません。しかし、交通事故は、即、命にかかわる場合もあり、考えるだけでも恐ろしいことです。

【上條今昔話】

上條校区の歴史～助松地区の歴史⑩～ 天神社

江戸時代まで、助松地区には天神社と若宮八幡宮という2つの神社がありました。現在は、旧天神社の境内に若宮八幡宮をお祀りし、助松神社という社号になっています。

天神社の由緒については、神護景雲年間(767～770)と伝わります。信頼できる古い記録としては、元禄10年(1697)の「助松村寺社附高除地帳」、元禄13年(1700)の「助松村寺社御改帳」があります。後者によると、2反9畝18歩(約2935.5㎡)の境内は年貢免除地で、本殿に加えて拝殿と鳥居が1ヶ所ずつありました。

江戸時代の天神社では村人が交替で神事を行っていましたが、明治24年(1891)の記録では、聖神社の神職が神事を執り行っていたことがみえ、明治時代の前半に神事のありかたがかわったようです。



明治7年(1874)の記録をみると、天神社は「助松神社」へと社号がかわっています。明治3年(1870)の「助松村神祇取調につき書上帳」には「春日社」と「天満宮」の両神を祀るとあることから、「天神」に偏らない村名を冠した社号にしたのかもしれませんが。

現在、境内には天和2年(1682)の鳥居があり、田中本陣の祖である遠江守が奉納したと伝わります。また、延宝8年(1680)の手水鉢や元禄7年(1694)の百度石も残り、過去の歴史を偲ばせてくれます。

(泉大津市教育委員会生涯学習課に資料提供して頂き掲載しています。)